

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

広島橋上駅

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.10	Q1	室内環境	2	温熱環境
	0.0	0.00			2.1	室温制御
	1.0	0.90	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	1.2	0.18				3
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.11				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。口 ERR=36.3	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
小計	5.0	0.16				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 各種エネルギー消費量を年間に渡り消費内訳を把握し確認する	4.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	3.5	0.11				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。口 雑排水利用施設あり/既存躯体一部利用/リサイクル資材(再生骨材の路盤材利用、陶磁器タイル)を採用/躯体と仕上材が容易に分別可能となっている	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.5	0.31				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.1	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	3.1	0.13				
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価						
	3.2	0.71				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	1.5	0.97				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場、駐輪場及び管理用の荷捌き場を設けている	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.3	地域インフラへの負荷抑制
					3	交通負荷抑制
小計	5.0	0.03				
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	1.6	0.18				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.1	0.70				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画に特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.30				
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)						
	3.0	0.10				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)						
	2.9					